

消費税減税、インボイス中止、大軍拡・大增税反対 3・13重税反対長岡集会 3年ぶりに開催



長岡版

発行編集
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2023年3月20日
第2138号

国保料減免、納税緩和、
インボイス制度への対応
民商に相談を

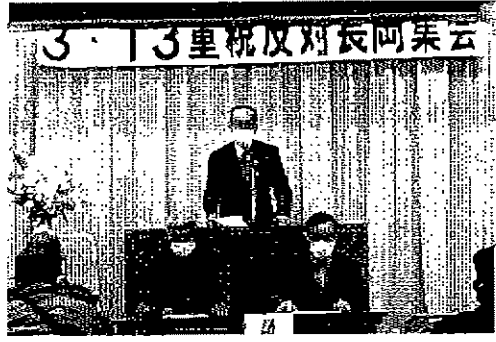
長岡民商は3月13日、長岡市の民主諸団体とともに3・13重税反対長岡集会を開催しました。過去2年はコロナ禍によって開催を断念、3年ぶりの開催となりました。

第8波のピークは過ぎたものの、コロナ禍は収束していません。政府の無為無策が感染を拡大させ、中小・小規模事業者は収入・所得の大幅な減少に悩まされています。また、物価高騰は止まる所を知らず、富裕層を除く国民の生活は一層苦しくなっています。

会の冒頭、酒井光男長岡民商会長（北支部・スクラップ）が主催者を代表しあいさつ。「軍事対軍事で平和は築けない。重税に反対し、営業と暮らしを守ろう。税務相談停止命令制度の創設など許さない」と熱く訴えました。

世界では99の国・地域が日本の消費税に当たる付加価値税を減税し自国民・地域民の負担を軽減させています。しかし、岸田政権は減税を否定しています。それどころか、税率を引き上げない増税策であるインボイス制度を10月1日から実施するとしています。

さらに政府は、大軍拡・大增税を企図しています。年末に閣議決定した「安保関連3文書」の改定は、戦後の歴代政権が否定してきた他国領域を先制攻撃する敵基地攻撃能力を保有し、「専守防衛」を投げ捨てる極めて危険なものです。政府は今後5年間の軍事費を総額43兆円とし、2027年度にはGDP（国内総生産）の2%に増大させる大軍拡を計画しています。



3・13重税反対長岡集会



3・13重税反対長岡集会

その財源を確保するため、政府は大增税を目論んでいます。大增税は、コロナ禍と物価高で逼迫する営業、暮らしに更なる打撃を与え、経済は深く落ち込みます。社会保障費や教育費の削減は必至であり、格差社会が一層進行します。

報告に立った金内事務局長は、税務相談停止命令制度や健康保険証廃止・マイナンバーカード強制取得にも言及し、「いま、私たちにできること、は団結して大きな声を上げること。暴政に反対する署名を広げ、私たちの訴えを政府に突き付けましょう」と訴えました。続いて、改憲・大軍拡・大增税に反対し、公平な税制と民主的な税務行政の確立を求めると訴えました。

閉会にあたり、山田隆長岡民商副会長（小国支部・自動車飯金）は「私たちが変えなければ、日本は沈没する。私たち一人ひとりは微力だが、私たちにできることをやってみよう」と訴えました。

集会後は長岡税務署までデモ行進。冷たい雨を物ともせず、「ストップ！ストップ！インボイス」「ストップ！ストップ！防衛増税」「軍事費削減！ストップ！ストップ！」など、シュプレヒコールで元気良く市民にアピールしました。



税務署に到着後、参加者の申告書を所属団体ごとに集約し、役員が代表して税務署員に提出しました。集会は無事終了しましたが、重税に反対するたたいは、これからも続きます。勝利するため力を合わせましょう。

